

## 出張試験における受検料金に付加する額について(計算等の考え方)

出張試験では、料金表の受検料金に加えて、当協会の規定に基づく試験監督者等の交通費及び(実技試験を行う場合)型枠等送料の実費負担をしていただきます。

出張試験の場合には、申請前に具体的な会場予定地などの連絡をいただき調整させていただくか、或いは、振込み予定日を設定して申請し、全コンからご連絡する付加額と一緒に振り込んでいただければ結構です。正式な受付は、申請書の受領と受検料金の全額入金を確認できた時点となりますので、ご注意ください。

### 【付加額の計算等の考え方】

#### 1. 概要

- (通常) = 交通費/人×試験監督者等人数(+型枠等送料/個×同時使用数)  
(学科試験のみの場合) = 交通費/人×試験監督者等人数

#### 2. 項目別

##### ①交通費

- ・ 交通費は、実績平均とする予定です。しかしながら、現時点は、未だ実績の件数が少ないので、当面、各支部事務所のある都道府県中央駅から試験会場までの交通費として計算します。
- ・ 公共交通機関の利用が時間的・距離的に難しい場合などは、車・タクシー等での計算をします。
- ・ 最寄り駅からの車の提供があれば、その条件で計算します(申込時に調整)。
- ・ 前日入りしないと試験が1日で終わらない場合、受検者数・受験等級の数が多く2日にまたがって実施する場合など、宿泊が必要な場合は宿泊費(1万円)を付加します。
- ・ 試験監督者等の想定人数分をご負担いただきます。通常は2名ですが、受検者数・受験等級の数によって、増員が必要な場合もあります。
- ・ 学科試験だけの場合には、同時受検者数が3人以下の場合は1人とします。

##### ②型枠等送料

- ・ 評価試験には、全コンが管理する型枠を使用します。
- ・ 型枠等は、通常、宅配便の着払いで前回使用した会場等からお送りし、全コンが指定する宛先に元払いで送付して頂きます。このため、通常は受検料への付加はありません。

しかしながら、もし、着払いでの受取りができない場合には、申請時にその旨の連絡をお願いします。全コンからの送付予定額を付加額に追加します。

- ・ 料金は、1個(1組)当たり、約 30kg、3辺長 150-160cm としてご試算ください。
- ・ 個数は、同時に使用する型枠最大数(1回の試験の最大受検者数分)となります。(現時点では、最大5個)

なお、試験が複数回にまたがると、試験準備の時間も必要であり、試験時間増で監督者増の可能性もあることから、できるだけ少ない回数で実施することとしています。